

# 社長のひと言

こんにちは。株式会社手造り屋 社長の岩崎勉です。

毎日のお豆腐は、どんな薬にも勝るもの。

そのままよし、煮てもよし、焼いてもよし。本物の食は、すぐここにありました。

## 不可能を可能にする

### 生体エネルギー

#### 「1+1=どんな1？」

自然の物はすべて複数の個が寄り集まることで、新しい一つの個を作り出しています。たくさんの個が集まって今までと違う個が出来るということを数で表現すれば「複数」が「1」になるということです。

つまり自然の法則では「 $1+1=1$ 」という式が成立しているのです。

これは、水分子を例にとれば「 $H^+$ 」と「 $OH^-$ 」という複数の個から「 $H_2O$ 」という一つの個が、出来るということです。水素と酸素とそして水分子では、それぞれが持っている内容(性質や機能など)がまったく違います。すなわち、まったく違う内容を持っている幾種類かの原子が、一つになることで、今までと違う分子としての内容を持つことが出来るうえ、その元となる原子の内容も保持したままでいられるのです。

そして、子の原子と分子の関係は、集合を繰り返すことで成立つ私たちの世界すべての物にあてはまるのです。このような分子という個を成立させている条件を、深く考えれば考えるほど今の科学では説明しきれない不思議な部分があることに気づきます。

この不思議な集合を繰り返す私たちの世界が成立するためには、相応の過程があります。

その過程と維持、このすべてを司る力が生体エネルギーです。生体エネルギーは新たな個を誕生させるための力であり、誕生後はそれを支える力となります。言い換えれば、**すべての個は生体エネルギーがあるからこそ存在し、すべての個の能力がどこまで発揮出来るかは生体エネルギー次第といえます。**つまり、生体エネルギーを高めることで、今まで不可能とされていたことも可能へと変化していくのです。

生体エネルギーはどのような物にもあり、どのような物にも影響を与える力です。この生体エネルギーという力を初めて知ることになった方の中には、科学では解明できない不思議な力と判断される方がいらっしゃいますが、そのようなことはなく、人の生命の継続に深い関わりを持つ農業の実践において理論化され、実質可能な知識として体系的にとらえられた科学として判断することが出来ます。

すべての物質は元素の結びつきによって形成されて、その元素の生体エネルギーが高ければ高いほど、力強い物質がつくられる様です。水を例に書いてあるように、美味しく、生体エネルギーの高い、湧水のような水がつくられます。「手づくりやさん」の水は生体エネルギー活用資材をいれ、美味しい水で豆腐を造っているのですよ。

